

SOA NEWS

VOL-8 No. 3

1988. 3. 1

(通巻 第70号)

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内 TEL/FAX.0488-24-2711

会員登録について

昭和63年度の会員登録を3月13日(日)より開始致します。協会ではきめ細かい情報を会員の皆様すべてにお届けできるようにニュース等を個人に発送することになりました。つきましては郵送料を含んだ会費となりますので宜しくご協力の程お願い致します。

また今年度から協会以外の場所でも登録手続きをとることができるようになりましたが、新規登録については従来通り協会受付となります。

登録するにはつぎの手続きをして下さい。

1.会員登録申込書に必要事項を記入し、更新者は旧会員証を持参して下記の場所に申し込んで下さい。

◆埼玉県サイクリング協会 TEL/FAX.0488-24-2711

<出張所>

◆芝川サイクル 川口市栄町1-14-11 TEL/FAX.0482-51-0187

◆谷輪業 所沢市緑町4-5-18 TEL/FAX.0429-22-8351

◆日比谷サイクル 越谷市赤山6-10-26 TEL.0489-62-4638

2.会費は次の通りです。

年度会費 2,500円 (傷害保障Aプランの保険料を含んでいます)

※新規加入の場合…入会金=500円、会員章代=500円が必要です

3.JCA会員登録

申込用紙に必要事項を記入して500円を添えて申し込んで下さい。

4.サイクリスト総合保障制度の追加ができます。

サイクリスト総合保障制度を参照下さい。(但しAプランにはすでに加入していますのでB,C,Dから選んで下さい。)

登録すると次の特典があります。

1.ファミリー会員(同居する親族)制度が利用できます。(1名700円(Aプラン付))

2.SCAニュース等の情報が得られます。JCA会員にはJCAニュースが得られます。

3.SCA事業(JCA会員にはJCA事業)に優先参加できます。

4.SCAの備品(野外用品等)の利用ができます。

5.ミーティング等に会議室の利用ができます。

*協会では多く情報をそろえていますのでいつでもお気軽にご利用下さい。

会費等の払い込みは郵便為替をご利用下さい。

口座番号=東京7-56228 加入者名=埼玉県サイクリング協会 ※写し同封

サイクルグッズの 販売について

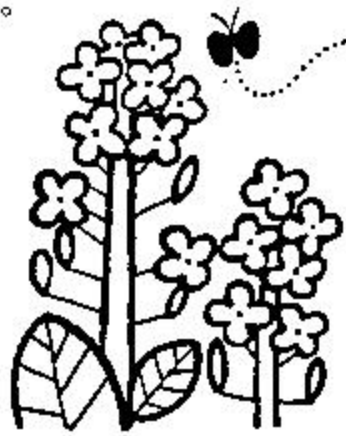
協会ではサイクルグッズの販売を4月より行います。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。いずれも協会だけでしか手に入らないものばかりです。

- | | |
|------------------|--------|
| ① 全国ラリー記念バッグ | 1,000円 |
| ② " ルーブル | 1,000円 |
| ③ ブロックラリー記念バッグ | 1,000円 |
| ④ " 工具入 | 500円 |
| ⑤ " 文鎮 | 500円 |
| ⑥ センチュリーラン記念リュック | 600円 |
| ⑦ 協会ペレー | 500円 |
| ⑧ SCAラリー記念バッグ | 200円 |

*但しSCAラリーバッグは個数により割引があります。

ツール・ド・サイ タマ OPEN

埼玉博覧会のオープニングを記念して企画されたツール・ド・サイタマ（日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会さいたま博覧会実行委員会）は県内より300余名の参加希望者があり、3/19～3/21の3日間県内の幹線道路をリレー形式で走る事になった。



< インフォメーション >

行田市郷土博物館のご案内

2月17日、行田市に郷土博物館が開館しました。行田市はさきたま古墳群に見られるように古代より文化の中心として栄え、近世に至っては忍藩(しんぱん)十萬石の城下町として栄えた所です。また、忍藩の下級武士が内職として始めた足袋作りが、現在も全国一の生産量を誇る産業として生き続けています。

さて、この博物館は「浮き城」と呼ばれた忍城本丸跡地に建てられています。外観は忍城二の丸御殿を模したもので、御三階櫓(ごさんかきぐら)という櫓も復元されており、展望台になっています。

館内に入ると、まず常設展示室の忍城とその城下町行田の歴史が、レプリカやビデオによって紹介されています。次に行田といえば足袋、足袋といえば行田と言われるくらい有名な足袋について、その産業としての発展の様子や、ビデオによる足袋作りを再現したり、使われている道具なども展示されています。また、さきたま古墳群などが造られた古墳時代の行田市についても紹介しています。特別な展示については企画展示室において行われ、開館記念として3月21日まで「忍藩ゆかりの武器・武具」の展示を行っています。

サイクリングの途中で寄ってみてはいかがでしょうか。

所在地 行田市本丸17-23
TEL 0485-54-5911
休館日 月曜日、毎月第4金曜日、
祝・祭日の翌日、年末年始
入館料 大人100円、学生・児童
50円

3月

- 3日 田植え祭り
秩父市棕神社
- 15日 山田の春祭り
秩父市恒持神社
お問い合わせはどちらも秩父観光協会へ Tel.0494-22-2211
- 18・19日 下田野のあんどんまち
皆野町赤城神社
お問い合わせは皆野町観光協会へ Tel.0494-62-123021
- 21日 北野天神の春祭り
所沢市北野天神社
お問い合わせは所沢市観光協会へ Tel.0429-23-1111

4月

- 3日 大宮住吉神楽
坂戸市大宮住吉神社
お問い合わせは坂戸市商工労働課へ Tel.0492-83-1331
- 4日 田植え祭り
秩父市秩父神社
お問い合わせは秩父観光協会へ Tel.0494-22-2211
- 8日 大野の送神祭り
都幾川村大野神社
お問い合わせは都幾川村観光協会へ Tel.04936-5-1535

さいたま博覧会情報

さいたま博覧会は3月19日～5月29日まで毎日開催されます。イベントホールで3月中に上演される主なものをいくつか紹介しましょう。

- 19日 開会式、竜童組ショー
- 20日 スターダスト・レビューショー
- 21日 バブルガム・ブラザーズショー
- 22日 引田天功スーパーマジック・ミュージカルショー
- 24日 さいたまキャンパス・フェスティバル
- 25日 引田天功Sミュージカル
- 26日 フラメンコシアター
- 29日 引田天功Sミュージカル
- 30日 同 上
- 31日 同 上

焼酎の話

前回は日本酒の話を書いたが、今回は下町のナポレオンこと焼酎についてお話ししましょう。

日本酒は醸造で造られるが、焼酎はウィスキーと同様に蒸溜で造られ、原料や製造法により種類がある。

まず甲類の焼酎は、原料に糖蜜が多く用いられ、さつま芋やトウモロコシ等も用いられている。

糖蜜は、さつま芋等澱粉質のものをそのまま糖化させてから、酵母を加えて醗酵させ、連続蒸溜機で精溜して、濃度の高い原料用アルコールをつくり、水を加え規定の濃度としたもので、アルコール36パーセント未満である。一方の乙類は、芋焼酎・泡盛・球磨焼酎・麦焼酎など単式蒸溜器で小規模に製造されるものをいい、アルコール45パーセント未満である。

乙類は、原料によって各々の風味を持ち、種類も豊富にある。

また、造り方も個性があり、泡盛・米焼酎・麦焼酎・芋焼酎等みな製法が若干づつ違っている。

飲み過ぎに、ご用心あれ!

UCC 水野 久夫



バイト言葉には旧人類には解らない名前ばかり。そのいくつかを紹介しましょう。

ディッシュウォッシャー：皿あらい
サムタイマー：パートやパートタイマーでは人が集まりにくいので、あるデパートが考えた「いつでも」の意

フロアレディー：ひとりのホステスのイメージチェンジ

ベジタブルスタッフ：農作業従事員

テレホンアポインター：家庭や会社へ電話して、印鑑・教材を買う意志があるかを確認、別の販売員と会ってもらう約束を取る電話接客員

シーター：レストランなどで客席へ案内する専門の係

クローズスタッフ：閉店後の掃除・片付け係

ハウスマヌカン：女子洋服販売員
さて貴方はいくつ解りましたか。
それではおまけ、解答は次号に掲載。

①エステシャン ②メイド ③コーティングスタッフ
④ラックボックス ⑤テレホンディクター ⑥デモン
ストレーター ⑦ホールスタッフ ⑧キャッシャー ⑨イベ
ントスタッフ ⑩スタンドギヤル ⑪ゲームインストラク
ター ⑫デリバリースタッフ ⑬グッズプロモーター
⑭インストアスタッフ ⑮プレスライダー ⑯ハイ
パーティスト ⑰ジュエリーアトリエスタッフ ⑱カス
トディール ⑲マーチャンダイズキャスト ⑳グリーンガ
ール

□協会事務局執務日は次の通りです
毎週火・木曜日 10:00～16:00
毎月第一・三土曜日 13:00～19:00
毎月最終日曜日 10:00～16:00

* 留守番電話設置

□事務局休み 4/5(火)

□事務局要員は次の方々です

3/5 日比谷 3/19 新井 3/27 高橋

□JCA指導者登録更新の方は必要書類を3/20までに提出して下さい。

□常任理事会 3/13(日)PM15:00～

≒編集後記≒

□カルガリーオリンピックでの黒岩の力強さ、聖子さんの燃焼しきった姿、みどりちゃんの演技の素晴らしさに久々感動した数日であった。そしてカナダ人の明るく陽気な国民性は今の日本人に欠けている何かを感じさせてくれた。昨夏私もカナダを訪れる機会があり、カルガリー・バンフ・ジャスパー等をレンタカーで走った。感心したのはどの観光地に行ってもゴミひとつ落ちていないのは勿論、自動販売機や売店等が見あたらないことだった。はたして今の日本はどうだろうか？。空き缶・紙屑・タバコの吸殻が散乱していて、恥しくて外国人など案内できない状態だ。もう一度原点に戻って考え直してみよう。